



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ノーリツ

コード番号 5943 URL <http://www.noritz.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼代表執行役員 (氏名) 國井 総一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 小関 良之

TEL 078-391-3361

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	150,106	△4.5	4,477	267.1	4,046	127.7	104	—
27年12月期第3四半期	157,220	0.5	1,219	△66.2	1,777	△63.7	△4,890	—

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 △7,445百万円 (—%) 27年12月期第3四半期 △4,900百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	2.18	2.18
27年12月期第3四半期	△102.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第3四半期	182,141	104,775	55.5
27年12月期	197,022	113,731	55.6

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 101,172百万円 27年12月期 109,545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	16.00	—	16.00	32.00
28年12月期	—	16.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	208,000	△5.0	8,000	56.2	7,700	28.1	2,700	—	56.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期3Q	50,797,651 株	27年12月期	50,797,651 株
② 期末自己株式数	28年12月期3Q	2,984,084 株	27年12月期	2,983,132 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期3Q	47,813,968 株	27年12月期3Q	47,816,552 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関しましては添付資料のP. 3をご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は平成28年11月8日(火)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き緩やかな回復が見られる一方で、個人消費の足踏みや、急激な為替変動、不安定な原油価格など不透明な状況が続いています。また、海外経済においても、減速傾向の中国経済、回復が緩慢な欧米経済など先行きは不透明な状況にあります。

国内住宅設備業界におきましては、住宅ローン減税や金利優遇政策に加え、マイナス金利政策による住宅ローン金利の低下が追い風となり、新設住宅着工戸数が前年を上回るなど順調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画「Vプラン16」の方針に基づき、国内事業の回復、海外事業の業績拡大に向け、収益改善策や櫻花衛厨(中国)股份有限公司の再建に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高1,501億6百万円(前年同期比4.5%減)、営業利益が44億77百万円(同267.1%増)、経常利益が40億46百万円(同127.7%増)となりました。また、前期計上した部品の保証延長に係る費用について再見積もりを実施し、特別損失に製品保証引当金繰入額38億1百万円計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億4百万円(前年同四半期は48億90百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 国内事業

当第3四半期連結累計期間の国内事業セグメントは、売上高が1,128億85百万円(前年同期比2.1%減)、セグメント利益が21億32百万円(前年同四半期は1億16百万円のセグメント損失)となりました。前期実施した値上げやコストダウン策といった収益改善策が計画以上に進捗し、大幅な利益改善につながりました。

主力の温水空調分野では、主力ガス・石油機器の需要が前年を上回る中、高効率ガス給湯器「エコジョーズ」、高効率石油給湯機「エコフィール」やハイブリッド給湯・暖房システムなどの環境配慮商品の拡販により売上高を増加させました。

厨房分野では、需要が前年を上回る中、主力ガスビルトインコンロの中高級グレード、取替需要が好調なレンジフードに新製品を加え、拡販に努めましたが、売上高は減少となりました。

住設システム分野は、ジャストリフォーム対応が可能なシステムキッチン「レシピア」やおそうじ浴槽標準搭載のシステムバス「ユパティオ」でリフォーム需要獲得に向けた付加価値提案に取り組みましたが売上高の減少となりました。また、新エネルギー分野は、家庭用太陽光発電システムからの完全撤退による影響を受け売上高の減少となりました。

② 海外事業

当第3四半期連結累計期間の海外事業セグメントは、売上高が439億45百万円(前年同期比11.6%減)、セグメント利益が23億45百万円(同75.5%増)となりました。現地通貨ベースでの売上高は増加しましたが、円高の影響により売上高は減少となりました。中国においては、経済成長鈍化の中、櫻花衛厨(中国)股份有限公司は販売管理費の抑制に努め、能率(中国)投資有限公司は、高効率給湯器や大能力タイプを拡販、上海地区での需要低迷の影響を上海市以外のエリアでの拡販やインターネット販売によりカバーし、販売台数を増加させました。米国では、住宅市場が回復基調の中、高効率給湯器の販売が好調に推移し販売台数を増加させました。販売台数増加により、中国、米国ともに現地通貨ベースでは売上高の増加となっております。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産残高は、1,821億41百万円(前連結会計年度末比148億81百万円減)となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金が減少したこと等により1,009億36百万円(同86億10百万円減)となりました。また、固定資産は投資有価証券が減少したこと等により812億5百万円(同62億70百万円減)となりました。

負債は支払手形及び買掛金が減少したこと等により773億65百万円(同59億25百万円減)となり、非支配株主持分を含めた純資産につきましては1,047億75百万円(同89億55百万円減)となりました。この結果、自己資本比率は55.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月10日の決算短信で公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(平成28年11月8日)公表いたしました「特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第2四半期連結会計期間において、連結子会社であった上海能率有限公司は清算が終了したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第2四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,769	30,634
受取手形及び売掛金	56,397	45,693
有価証券	1,523	100
たな卸資産	18,407	19,081
その他	5,742	5,574
貸倒引当金	△293	△148
流動資産合計	109,546	100,936
固定資産		
有形固定資産	35,739	34,310
無形固定資産		
のれん	816	655
その他	9,591	8,055
無形固定資産合計	10,408	8,711
投資その他の資産		
投資有価証券	36,206	33,272
その他	5,589	5,421
貸倒引当金	△468	△510
投資その他の資産合計	41,327	38,183
固定資産合計	87,475	81,205
資産合計	197,022	182,141
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,826	33,296
短期借入金	800	800
未払法人税等	624	1,088
賞与引当金	720	2,529
役員賞与引当金	—	15
製品保証引当金	920	908
製品事故処理費用引当金	19	11
その他	19,253	15,857
流動負債合計	61,164	54,507
固定負債		
役員退職慰労引当金	53	40
製品保証引当金	3,439	6,582
退職給付に係る負債	11,626	11,301
その他	7,006	4,933
固定負債合計	22,126	22,857
負債合計	83,291	77,365

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,167	20,167
資本剰余金	22,956	22,956
利益剰余金	55,120	53,694
自己株式	△5,093	△5,095
株主資本合計	93,152	91,724
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,040	11,500
繰延ヘッジ損益	△52	△254
為替換算調整勘定	3,823	△596
退職給付に係る調整累計額	△1,419	△1,201
その他の包括利益累計額合計	16,393	9,448
新株予約権	—	21
非支配株主持分	4,185	3,580
純資産合計	113,731	104,775
負債純資産合計	197,022	182,141

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	157,220	150,106
売上原価	106,335	100,672
売上総利益	50,884	49,434
販売費及び一般管理費	49,664	44,956
営業利益	1,219	4,477
営業外収益		
受取利息	211	154
受取配当金	333	388
受取賃貸料	93	91
為替差益	34	-
その他	255	342
営業外収益合計	929	977
営業外費用		
支払利息	15	10
固定資産賃貸費用	67	58
貸倒引当金繰入額	123	-
為替差損	-	1,210
その他	164	129
営業外費用合計	371	1,408
経常利益	1,777	4,046
特別利益		
固定資産売却益	64	-
投資有価証券売却益	3	234
関係会社清算益	-	386
負ののれん発生益	44	-
受取保険金	564	-
製品事故処理費用引当金戻入額	114	-
特別利益合計	789	620
特別損失		
固定資産処分損	55	46
減損損失	1,763	272
のれん償却額	4,686	-
関係会社株式評価損	9	-
ゴルフ会員権評価損	-	0
製品保証引当金繰入額	-	3,801
特別損失合計	6,515	4,120
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,948	545
法人税、住民税及び事業税	1,760	1,860
法人税等調整額	△727	△1,620
法人税等合計	1,033	240
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,981	305
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△91	201
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,890	104

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,981	305
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,071	△2,540
繰延ヘッジ損益	△921	△202
為替換算調整勘定	△1,173	△5,226
退職給付に係る調整額	105	217
その他の包括利益合計	81	△7,751
四半期包括利益	△4,900	△7,445
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,711	△6,841
非支配株主に係る四半期包括利益	△188	△604

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	海外事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	110,712	46,507	157,220	—	157,220
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,585	3,231	7,816	(7,816)	—
計	115,297	49,739	165,036	(7,816)	157,220
セグメント利益又は損失(△)	△116	1,335	1,219	—	1,219

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	海外事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	108,207	41,899	150,106	—	150,106
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,678	2,046	6,724	(6,724)	—
計	112,885	43,945	156,831	(6,724)	150,106
セグメント利益	2,132	2,345	4,477	—	4,477

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。